

町農業委員の顔ぶれ (令和6年4月～)

会長 会長職務代理者



さとうししか
佐藤俊孝
(南矢幅2区)



たかはひろあき
高原弘明
(白沢)



くまがいようじ
熊谷洋司
(下赤林)



あべえりこ
阿部江利子
(間野々)



ほのおのきだあつし
朴田敦志
(南矢幅9区)



ささきひろし
佐々木博
(太田)



しらせわかづみ
白澤克美
(室岡)



ささきたつや
佐々木達也
(煙山)



しらせわかづみ
白澤和実
(桜屋)



たかはし
高橋かおる
(下赤林)



ささきあきひで
佐々木昭英
(広宮沢1区)



ふくざわひろき
福澤広基
(東徳田2区)



かねこただひろ
金子忠博
(北郡山)



ささきみつえ
佐々木光枝
(煙山)



ほしかわただひろ
星川忠博
(館前)



なかつかまこと
中塚誠
(矢次)

※各委員の氏名(敬称略)、行政区を紹介しています。掲載順は左上から順に会長、会長職務代理者、以下議席番号順です。

任期満了に伴い、農業委員の辞令交付式が4月24日(水)に行われました。新農業委員16人は町議会の同意を得て、高橋町長から町農業委員として任命されました。新農業委員による初の総会で会長に佐藤俊孝さん、会長職務代理に高原弘明さんがそれぞれ選出されました。任期は4月24日～令和9年4月23日までの3年。

農業委員会の仕事紹介～3つの専門委員会～

農業委員は町の農業者の代表として選ばれ、農地に関する問題解決や農業者の立場からの行政への建議などを行います。農業委員会には3つの専門委員会があり、各委員はいずれかの委員会に所属し活動します。

※専門委員会の構成※ (◎は委員長、○は副委員長)

【土地調整専門委員会】◎白澤和実、○佐々木昭英、熊谷洋司、朴田敦志、金子忠博

【農政経済専門委員会】◎佐々木博、○白澤克美、福澤広基、星川忠博、中塚誠

【生活文化専門委員会】◎阿部江利子、○佐々木達也、高橋かおる、佐々木光枝

①土地調整専門委員会・・・農地の無断転用や遊休農地の解消のためパトロールを強化して指導にあたります。

②農政経済専門委員会・・・農作業料金の見直しのほか、生産者＝消費者であるという考え方で地産地消に取り組みながら、魅力ある農業を推進します。

③生活文化専門委員会・・・次世代に農業を引き継ぎ育てていくために、家族の役割、地域での関わりなどを大事にした、農家生活の改善や後継者対策等の活動を進めます。

■問い合わせ 町農業委員会事務局 (019-611-2542)

令和6年度 下水道事業会計予算のあらまし

上下水道課経営係 (019-611-2564)

※矢巾町が管理する下水道は、市街地の公共下水道と農村地域の農業集落排水に分けられます。

収益的収支

～下水を処理するための予算～

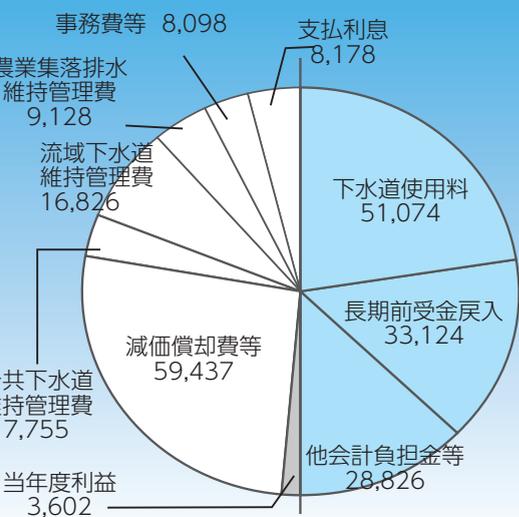
収入 11億3,024万円
支出 10億9,422万円

ご家庭や事業所で発生した汚水を下水処理場に送り、処理するための経費とその財源です。
町内の汚水・雨水管(管渠)を維持管理する経費や、汚水を浄化する経費が含まれます。財源として下水道使用料が使われています。

支出

収入

(単位:万円)



資本的収支

～下水道施設をつくるための予算～

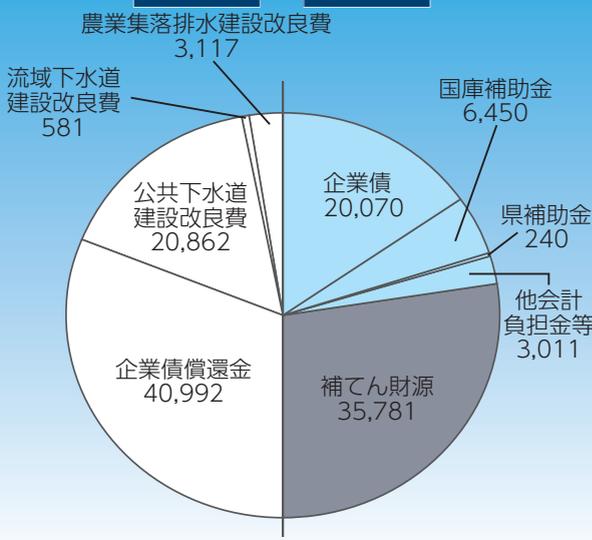
収入 2億9,771万円
支出 6億5,552万円

下水処理場や管渠の整備・長寿命化を進める経費、整備のために借り入れた資金の返済に係る経費とその財源。国などからの補助金や企業債等でまかなうほか、不足分は資本拡充のために内部で留保・積立した資金を取り崩すなどして補っています。

支出

収入

(単位:万円)



令和6年度の主要事業

持続可能な事業運営のため今年度も下水道施設の更新に取り組むジャ!



①管渠更生工事

下水道管の内側に更生材を張り付けることで、管の強度を高め長寿命化を図ります。

②管渠カメラ調査業務

計画的な改築・修繕のために、下水道管劣化状況をカメラで調査します。

③鉄蓋交換工事

老朽化したマンホールの蓋を更新します。

【令和6年度事業の概要】

●処理戸数(下水道に接続している世帯数) 10,700戸

●年間処理水量(1年間に処理場で処理する汚水の総量) 3,966,314m³

●1日平均処理水量(年間処理水量を年間日数で割った水量) 10,867m³